

木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所

「初瀬水路」手作りカードの配布について

水資源機構では、平成24年1月から理事長プロジェクトとして国土交通省基本方針に基づく新たな取り組みの一環として「低炭素・循環型システムの構築—小水力発電の推進」に積極的に取り組んでいます。

木津川ダム総合管理所では、室生ダムによって開発された水道用水を、室生湖から直接取水し、奈良県桜井浄水場に通年導水（最大1.6m³/s）しています。

この水を利用した最大出力150kwの水力発電所が完成し、2月18日から運用開始しました。

関西支管内での「小水力発電の推進」の第1号となる水力発電所であり、また、初瀬取水塔の地下30mのトンネル内にある放水管を有効活用して発電を行うのは、全国的にも珍しいものです。

今回、室生ダムの管理開始40年を迎え、新たな施設となった初瀬水路発電所の運用開始を記念して、木津川5ダムで発行している手作りカードと同様な「初瀬水路カード」を発行することにしました。

このカードの配布は平成26年7月からとし、木津川5ダムの手作りカード（小判5枚または大判1枚）を提示していただいた方を対象として配布することにします。（下記参照）

なお、「初瀬水路カード」の配布にあたり、何回も室生ダム管理所に足を運んでいただくこととなりますが、より室生ダムを知っていただきたい思いがあつてのことと、ご理解頂ければと存じます。

※関連資料：「水とともに」2014年5月号（独立行政法人 水資源機構 発行）

木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所

右側の木津川5ダムの手作りカード5枚（赤枠内）
または木津川ダム（大判）1枚を提示下さい。



【初瀬水路カード見本】



【木津川5ダムカード見本および大判見本】